

学部学生のみなさんへ

2025年度秋学期集中科目

日本語教育センター ラーニング・アシスタント募集について（お知らせ）

L.A.とは、関西学院大学で提供される科目を対象として、授業担当者の授業運営を補佐したり、履修学生の指導や相談をおこして教育および学習の支援を行う学部学生スタッフの総称です。

なお、L.A.には下記のとおり、業務報酬を支払います。しかし、単なるアルバイト業務ではなく、関西学院大学における教育活動の一環として位置づけていますので、L.A.になった方は以下業務内容を通じて、自身の学びをさらに深めることができるように考えながら業務にあたってください。

以上を十分に理解した上で、定められた期間内に申込手続を行ってください。

■L.A.募集要項

募集科目 募集人数	別紙募集科目一覧参照（注）L.A.に採用された学生は当該学期に当該科目を履修することはできない
任 期	2025年度 秋学期
申込資格	・本学の学部に在籍中の正規学生 (注) 大学院生、2025年度秋学期に休学・退学する（予定者含む）等の学生は申込ができない
業務内容	L.A.は授業担当者の指示を受け、次の業務に従事する。 1) 学生の学習活動への助言対応補助 2) 学生の学習上の質問・相談対応補助 3) 学生の学習進捗状況等に関する授業担当者への報告 4) 授業運営の補助 5) その他授業担当者が必要と認めた教育活動上の補助 ※業務内容詳細：次ページで確認して下さい。
報 酬	I種：1時間あたり1,340円
申込方法	「ラーニング・アシスタント申込書」を提出する。 ・申込方法：下記URLよりwebフォームにて申込 ・URL： https://forms.office.com/r/FsKSjkr4QR ※メールでの申込は受け付けないのでご注意ください。
申込要件	・下記URLよりオリエンテーション動画（約5分間）を視聴し、センターの活動や開講科目への理解を深めてから申込をしてください。 ・ https://youtu.be/aUEwA3rW0OA
申込締切	2026年1月5日（月）16:50まで
選 考	申込書類をもとに日本語教育センターで選考を行います。 選考結果は1月16日（金）に申込者にkwicにて通知します。 採用後の手続きについては、採用者に対し個別連絡します。

2025年度秋学期集中科目 ラーニング・アシスタントⅠ種募集科目一覧

科目名	担当者	日程	曜日・時限	募集人数 (名)	LA実務回数 (回)	教室	主な業務内容	授業内容	事前説明	備考
日本語学習科目 (プロジェクトワークA(レベル 1-3))	松下 恵子	2月10日 2月13日 2月16日 2月17日 2月18日	火:3・4限 金:3・4・5限 月:3・4限 火:3・4・5限 水:3・4限	5	12	G-223	①日本映画のアフレコ活動 日本映画3分程度の場面のアフレコ活動をするので手伝う。自然な日本語が使えるようにサポートする。 ②「私らしい日本語」映像制作 グループで短編映像を企画・脚本作成、撮影、編集と一緒に行う。	科目名:「私らしい日本語」を話すための役割語ワークショップ 【役割語の知識習得】 役割語の種類や使い方を学び、ディスカッションで自分の考えを発表する。日常会話や特定のシチュエーションでの対話例を作成し、ほかの参加者と共有する。 【日本映画のアフレコ活動】 日本映画のシーンに合った台本を準備してアフレコを行う。発音やイントネーションの練習を行い、アフレコ映像を録画する。 【「私らしい日本語」映像制作】 「私らしい日本語」をテーマとした短編映像の企画、脚本作成、撮影、編集を担当する。各工程で役割を分担し、チームで協力して作品を完成させる。	必要:2月10日(火)初回のみ13:00集合。担当教員より口頭で説明。	
日本語学習科目 (プロジェクトワークD(レベル 4-8))	掛橋 智佳子	2月19日(木):1・2限 2月20日(金):1・2限 2月24日(火):1・2・3限 2月25日(水):1・2限 2月26日(木):1・2・3限 2月27日(金):1・2限	2月19日(木):1・2限 2月20日(金):1・2限 2月24日(火):1・2・3限 2月25日(水):1・2限 2月26日(木):1・2・3限 2月27日(金):1・2限	4	14	4別-302	基本的に留学生と共に、同じ大学生として話し合いや活動に参加してください。活動を通して、災害だけでなくお互いの文化や社会について学びあいます。必要に応じて日本語や、円滑な活動のためのサポートをお願いします。 またフィールドワークやインタビューなど学外に出ることもありますので、引率をお願いすることもあります。 ※毎日、LA活動報告書を提出(授業内)	中上級の日本語学習者を対象にしたクラスです。 留学生がLAと共に、フィールドワーク、インタビュー、ゲストスピーカーの講義などを通じて、学内外の様々な人々から日本語で災害、防災、防災教育について学びます。その上で留学生の視点から「防災マニュアル」を作成し、発表します。 完成したマニュアルは、「かけはし」に掲載して他の留学生にも実際に役に立てもらうことを想定しています。	メールで連絡後、必要があれば事前にオンラインで説明します。	必ず連絡がとれるメールアドレスを登録してください。 全回参加が望ましいですが、難しい場合は相談してください。